墨田区児童育成手当条例の一部を改正する条例（案）新旧対照表

改 正 案	現 行
<p>(支給要件)</p> <p>第4条 〔略〕</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、手当は、次の各号のいずれかに該当するときは、支給しない。</p> <p>(1) 保護者の前年の所得（1月から5月までの月分の手当については、<u>前々年</u>の所得とする。）が、その者の所得税法（昭和40年法律第33号）に規定する<u>同一生計配偶者及び扶養親族</u>（以下「扶養親族等」という。）並びに当該保護者の扶養親族等でない18歳に達した日の属する年度の末日以前の児童で当該保護者が前年の12月31日において生計を維持したものの有無及び数に応じて、規則で定める額以上であるとき。</p> <p>(2)・(3) 〔略〕</p> <p>別表</p> <p>1・2 〔略〕</p> <p>3 脳性麻痺又は<u>進行性筋萎縮症</u>を有する者</p>	<p>〔同左〕</p> <p>第4条 〔略〕</p> <p>2 〔同左〕</p> <p>(1) 保護者の前年の所得（1月から5月までの月分の手当については、<u>前前年</u>の所得とする。）が、その者の所得税法（昭和40年法律第33号）に規定する<u>控除対象配偶者及び扶養親族</u>（以下「扶養親族等」という。）並びに当該保護者の扶養親族等でない18歳に達した日の属する年度の末日以前の児童で当該保護者が前年の12月31日において生計を維持したものの有無及び数に応じて、規則で定める額以上であるとき。</p> <p>(2)・(3) 〔略〕</p> <p>別表</p> <p>1・2 〔略〕</p> <p>3 脳性麻痺又は<u>進行性筋萎縮症</u>を有する者</p>

付 則

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 この条例による改正後の第4条第2項第1号の規定は、平成31年6月以後の月分の児童育成手当の支給について適用し、同年5月以前の月分の児童育成手当の支給については、なお従前の例による。